



年	額	三月ヨリ九月迄七ヶ月間 毎月支給額	十月ヨリ翌年二月迄五ヶ月間 毎月支給額
九	拾圓	四	拾貳圓四拾錢
八	拾五圓	參	拾貳圓八拾錢
八	拾五圓	參	拾壹圓八拾錢
七	拾五圓	貳	拾壹圓八拾錢
七	拾五圓	貳	拾貳圓貳拾錢
六	拾五圓	壹	拾壹圓貳拾錢
六	拾五圓	壹	拾壹圓六拾錢
五	拾五圓	壹	拾圓六拾錢
五	拾五圓	壹	九圓六拾錢
四	拾五圓	壹	八圓六拾錢
四	拾五圓	壹	七圓六拾錢
四	拾五圓	壹	六圓六拾錢

參	拾五圓	壹圓	四圓六拾錢
參	拾五圓	壹圓	五圓六拾錢

第二條 本則ニ規定スルモノ、外ハ總テ本縣給料旅費支給規則ニ依ル

●德島縣令第三八號 (沿革) 明治四十五年七月縣令第四十三號改正  
 明治四十三年六月本縣令第四十九號產米輸出検査手数料規則左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ施行ス

明治四十四年三月三十日 德島縣知事 渡邊勝三郎

產米輸出検査手数料規則

第一條 產米検査規則第六條ニ依ル輸出検査手数料ハ一俵ニ付金壹錢トス  
 第二條 検査手数料ハ受檢届出ノ際領收證紙ヲ以テ輸出検査所又ハ當該検査吏員

ニ納付スヘシ

領收證紙ハ檢出 書口頭届出ノ際ハ口頭受付票ニ之ヲ貼付シ届書又ハ口頭受付

票ノ紙面ト證紙ノ彩紋トニ掛ケ受檢者ノ印章ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ  
領收證紙ノ破損又ハ汚染シタルモノハ納付スルコトヲ得ス

第三條 領收證紙ハ左ノ三種トシ別ニ指定スル個所ニ於テ現金引換ニ之ヲ交付ス

壹錢領收證紙 豎 七分 橫一寸二分 地紋黃色上模様褐色

拾錢領收證紙 豎 七分 橫一寸二分 地紋水色上模様赤色

壹圓領收證紙 豎 七分 橫一寸二分 地紋桃色上模様藍色

前項ニ依リ指定シタル個所又ハ指定ヲ取消タルトキハ其都度之ヲ告示ス

第四條 領收證紙交付所ノ指定ヲ受ケタル者ハ様式第一號ノ講求書ヲ便宜縣廳又

ハ最寄郡役所ニ提出シ現金ヲ納付シテ領收證紙ノ交付ヲ受ケ置クヘシ領收證紙  
ハ天災地變其他不可抗力ニ依ル場合ノ外之ヲ再渡セス

第五條 領收證紙交付所ノ指定ヲ受ケタル者ニハ交付手数料トシテ前條第一項ノ

納付金額ニ對シ百分ノ八ヲ領收證紙ヲ以テ交付ス但錢以下ハ切捨トス

第六條 領收證紙交付所ノ指定ヲ受ケタル者ハ様式第二號ノ標札ヲ戶外ニ掲クヘ

シ

第七條 領收證紙交付所ノ指定ヲ受ケタ者ルト雖モ知事ニ於テ必要ト認ムルトキ

ハ其指定ヲ取消スコトアルヘシ

領收證紙交付所ノ指定ヲ受ケタル者其指定ヲ辭退セントスルトキハ豫メ其事由

ヲ具シ知事ニ届出ヘシ

本條ノ場合ニ於テハ現存セル領收證紙ヲ添付シ現金ノ下戻ヲ請求スルコトヲ  
但其交付額ハ領收證紙ノ額ニ百八分ノ百ヲ乘シ錢位以下ヲ切捨テタルモノトス

(様式)

第一號

請 求 書

一 壹錢領收證紙 何 枚

一 拾錢領收證紙 何 枚

一 壹圓領收證紙 何 枚

此金何程

外

一何錢領收證紙

何枚手數料

右産米輸出検査手數料領收證紙交付相成度請求候也

年 月 日

住 所

氏 名 印

知事宛  
郡長宛

第二號

六 寸

二 尺

德島縣領收證紙交付所

●德島縣訓令第二五號

産米輸出検査手數料取扱手續左ノ通定ム

内 務 部  
郡 役 所

明治四十四年三月三十一日 德島縣知事 渡邊勝三郎

産米輸出検査手數料取扱手續

- 第一條 産米輸出検査手數料規則第四條第一項ニ依リ郡役所ニ於テ交付スヘキ領收證紙ハ豫メ知事ニ請求シ之カ配付ヲ受ケ置クヘシ
- 領收證紙ノ受拂ハ其都度様式第一號ノ受拂簿ニ登記シ郡長ニ在リテハ様式第二號ニ依リ毎月末現在高チ翌月五日迄ニ知事ニ報告スヘシ
- 第二條 天災地變其他不可抗力ニ依リ亡失シタル領收證紙再渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ精査シ郡長ニ在リテハ知事ノ認可ヲ經テ之カ再渡ヲ爲シ様式第一號ノ受拂簿ニ登記スヘシ

第三條 産米輸出検査手数料規則第七條第三項ニ依リ現金下戻ノ請求ヲ受ケタル

トキハ領收證紙交附ノ事實ヲ調査シ郡長ニ在リテハ請求書ニ意見書ヲ添付シ知

事ニ提出シテ現金下戻ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 産米輸出検査手数料規則第二條第一項ニ依リ領收證紙ノ納付ヲ受ケタル

トキハ之ヲ様式第三號ノ整理簿ニ登記シ且領收證紙ハ毎月末之ヲ取纏メ様式第

四號ノ報告書ニ添付シテ翌月十日迄ニ所轄出張所ヲ經テ縣廳ニ送付スヘシ

附則

第五條 明治四十三年徳島縣令第四十九號第三條ニ依リ交附ヲ受ケタル領收證紙

ハ仍其効力ヲ有ス

様式

(第一號)

産米輸出領收證紙受拂簿  
検査手数料

累計	計	月日	受ノ部		交拂部		交付ノ部		現在ノ部
			壹錢拾錢壹圓金額	部	壹錢拾錢壹圓金額	部	壹錢拾錢壹圓金額	部	

(第二號)

報告

知事宛

産米輸出検査手数料領收證紙何月末現在高

明治 年 月 日

郡

長

領收證紙	前月越高	本月受高	合計	本月拂高	月末現在高	備考
壹錢證紙	枚	枚	枚	枚	枚	
拾錢證紙						
壹圓證紙						
計						

(第三號)

產米輸出領收證紙整理簿  
檢查手數料

月	日	檢査	手數料領收證紙	合計金額	住納	所氏	付者
		俵	數	壹錢 拾錢 壹圓	計		名
計							

累計

(第四號)

報告

所長宛

明治 年 月 日  
何輸出檢査所又ハ何郡何町村  
檢査員 氏

名印

何年 產米輸出檢査手數料領收證紙收納高  
何月分

月	日	手數料領收證紙	合計金額	屆出口數	備考
		壹錢 拾錢 壹圓	圓		
		枚 枚 枚			
		計			

●訓第一八七號 (沿革) 明治四十四年五月訓第一二四號改正

一七六

產米 檢査所  
產米 檢査出張所

產米檢査出張所主事ハ本年六月訓第百貳拾參号ノ外尙左ノ各項ニ據リ執務スヘシ  
右訓令ス

明治四十三年八月三十一日

德島縣知事 渡邊勝三郎

一、主事ハ產米ノ改良及檢査上主要ナル事項ニ關シ當該郡市長ト協商シテ相互  
其步調ナ一ニシ圓滿ヲ計ルニ努ムヘシ

二、主事ハ檢査員ノ人選異動等ニ關シ當該郡市長ト協商シテ其意見ヲ定メ所長  
ニ内報スヘシ

三、主事所轄區域内ノ出張ハ其用件豫定日數及行先地名ヲ當該郡長ニ申告シ同  
時ニ知事ニ報告スヘシ

四、主事補所轄區域内ノ出張ハ前項ニ準シ主事ヨリ郡長ニ申告シ同時ニ所長ニ

告スヘシ

五、主事ニ於テ檢査員ヲ召集セントスルハ豫メ其期日場所並ニ協議事項等ヲ  
具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

六、主事ハ經費豫算ノ執行ニ關シ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、旅費、諸雇給、備品費、消耗品費、運搬費、雜費等ハ別ニ通達スル豫算  
ノ範圍内ニ於テ專決執行スヘシ但一廉金五圓以上ノモノハ豫メ知事ノ認可  
ヲ受クヘシ

二、豫算ノ執行ハ其都度旅費ニ在リテハ出張命令簿其他ニ在リテハ様式第一  
号ノ豫算執行簿ニ記載整理スヘシ

三、豫算執行ヲ終タルトキハ様式第二號ノ開申書ニ請求書ヲ添付シテ產米檢  
査所ニ送付シ同時ニ様式第三號ノ豫算差引簿ニ記載整理スヘシ

七、主事ハ物品ノ整理ニ關シ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、備品ヲ購入シ又ハ之カ配付ヲ受ケタルトキハ備品受拂簿ニ記載シ同時ニ

一七七

様式第四號ノ物品保管證ヲ作製シテ産米検査所物品取扱主任ニ送付スヘシ  
但箒ランブホヤ、ランブ紙笠、雑巾、杓、標本米入壇(筒形)ハ除却拂トシ  
受拂簿中ノ拂ノ欄ニ(除却)ト記入スヘシ此場合ニ於テハ物品保管證ノ送付  
ヲ要セス

- 一、證票紙封緘紙郵便切手及端書其他特ニ指定ヲ受ケタル消耗品ヲ購入シ又ハ其配布ヲ受ケタルトキハ消耗品受拂簿ニ登記シ同時ニ様式第五号ノ物品領收証ヲ作製シ産米検査所物品取扱主任ニ送付スヘシ
- 二、物品ヲ配付シタルトキハ前各號ニ依リ記帳アルモノニ限り其都度之ヲ各受拂簿ニ記載シ同時ニ前各號ニ準シテ物品保管證又ハ物品領收証ヲ徴シ又ハ受拂簿ニ保管若クハ領收證印ヲ徴スヘシ但備品ニシテ出張所内ニ於テ使用スルモノルハ拂渡ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

(様式)

第一号

豫算執行簿

主事主任	月日	摘要	員數	金額	合計	氏名	執行月日	帳目

(備考) 費目毎ニ別座ヲ設クヘシ

第二號

開申

明治 年 月 日

何出張所主事 氏 名 印

知事宛

年月日	所屬年度	名稱	員數	金額	位	金額	請求者	備考





右領收候也

年 月 日

職 氏 名 印

德島縣產米檢查所物品取扱主任宛

●内米第七七〇號

明治四十四年三月十日

產米檢查所長 住 田 史 郎

各出張所主事殿

會計事務整理ニ關スル件

會計事務整理ニ關シ左記ノ通廳議決定相成候條及通牒候也

記

- 一、收支証書ニ信用アル店印(所謂店判)ヲ使用シ差支ナモコト但其店印ニシテ反對ノ文意(仮令ハ金錢ノ受取ニ使用セス等)ヲ彫刻シナキモノタルヲ要ス
- 二、請求書領收証ニシテ郵便葉書ヲ以テ提出スルモ差支ナキコト
- 三、收支諸証書等ニシテ明ラカニ誤記脱字等アリテ爲メニ訂正ヲ要スル場合ハ各解氏又ハ當該會計主任者ニ於テ訂正懸印ヲ爲スモ差支ナキコト但本文ノ場合ハ其權利又ハ義務ノ金額其他法律關係ニ異動ヲ生セサルモノタルニ限ルモノトス

●内米第八〇七號

(沿革)

大正四年七月二日内米第一一九三號改正

明治四十三年十一月十五日

產 米 檢 查 所

各出張所主事殿

郵便切手取扱ニ關スル件

題記ノニ付左記各項ニ依リ取扱相成度候

追テ九、十月分ハ此際御報告有之度候

一、郵便切手類ハ各検査員ニ概算渡ヲ為スコト  
 一、出張所ニ於テ使用セシモノ竝ニ各検査員ヘ交付セシモノハ翌月十日迄ニ別紙様式ニ依リ報告スルコト

(様式)

號

明治四十年 月 日

報告

何出張所

主事 何

某

德島縣知事宛

何月分郵便切手受拂精算書

一金

内 譯

摘要	受				拂				殘			
	拾錢	參錢	壹錢	高 端書	拾錢	參錢	壹錢	高 端書	拾錢	參錢	壹錢	高 端書
前月越高	五	五〇	三〇	二〇								
本月受高	一	一〇〇	一〇〇	一〇〇								
本月拂高					二	五〇	二〇	三〇				
計	五	一五〇	一三〇	一二〇	二	五〇	二〇	三〇	三	一一〇〇	一一〇	九〇
翌月へ繰越	三	一〇〇	一一〇	九〇								

●内米第一一五五號

明治四十四年四月二十四日

産米検査所長

住 田 史 郎

各出張所主事殿

旅費請求ニ關スル件

旅費支給規則本年三月三十一日訓令第二十二号ニヨリ訓令相成候ニ付テハ日額ノ支給ヲ受クル者ノ、請求書ハ左記様式ニ依リ提出相成度候

記

旅費請求書

産米検査監督御用ニ付管内出張

何々出張所(主事又ハ主事補)

(監督員又ハ検査員) 何

某

一金何圓何拾錢

但シ日額金何圓又ハ何拾錢此何日分

此 譯

月 日	事	由	日	數
何月何日	何郡何町村發何町村ヲ經テ歸着			一
何月何日	全所發何村何町ニ至リ着泊			一

何月何日	前所發何町村ヲ經テ歸着	計
		三

右 請求 候 也

明治 年 月 日

右 氏

名 印

德島縣知事宛

●内米第一一二六号

明治四十四年四月十九日

産米検査所長 住 田 史 郎

各出張所主事殿

備品及消耗品取扱方ニ關スル件

備品及消耗品取扱方左記ノ通相定ラレ候條御了知相成度尙ホ各検査員へモ通牒方可然御取計相成度候

記

- 一、産米検査出張所輸出検査所及生産検査員事務取扱規程第十四條ノ諸帳簿中  
備品受拂簿ハ検査出張所ノ外ハ備品保管簿ヲ以テ之ニ代ヘ消耗品受拂簿ハ檢  
查出張所ノ外證票紙封緘紙ノ二種ニ限リ之カ受拂ヲ爲ヘシ
- 二、備品中左記物品ハ除却拂トシ受拂簿中拂ノ欄ヘ(除却)ト記入シ整理スヘシ  
箒、ランプホヤ、ランプ紙笠、雑巾、杓、標本米入瓶

●内米第一四七〇號

明治四十四年六月六日

産米検査所長 住田史郎

各出張所主事殿

備品整理ニ關スル件

出張所輸出検査所及生産検査員ニ於テ保管セル物品中破損又ハ磨滅等ニ依リ使用  
ニ堪ヘサルモノアルトキハ左記ノ各項ニ依リ御取扱相成度候

記

- 一、輸出検査所及生産検査員ニ於テ保管セル物品中使用ニ堪ヘサルモノアルト  
キハ現品ニ返納書ヲ添付シ所轄出張所ニ送付スヘシ
- 二、出張所ニ於テ保管セル物品中使用ニ堪ヘサルモノ又ハ前項ニ依リ返納ヲ受  
ケタル物品ニシテ修繕ニ堪ユルモノハ修繕ヲ加ヘ修繕ニ堪ヘサルモノハ之ヲ  
取纏メ産米検査所ニ報告シテ指揮ヲ受クヘシ

●内米第八〇一號

大正二年三月二十八日

産米検査所長 住史郎

各出張所主事殿

事務取扱方ニ件

備品消耗品受拂簿及備品保管簿ノ記載方ニ關シ往々其取扱ヲ異ニセル向有之候間  
將來左ノ各項ニ依リ整理相成度候

- 一、出張所ニ於テ一旦輸出検査所又ハ生産検査員ニ配付シタル備品消耗品(証  
票紙封緘紙郵便切手)等ノ返納ヲ受ケタルトキハ受拂簿ノ摘要欄ニ其事由ヲ

記入シ受高數字ハ墨書スヘシ

一九〇

- 二、明治四十三年八月卅一日訓第百八十七號第七項ノ除却物品ヲ購入シ又ハ之カ配付ヲ受ケタル所ハ受拂簿ノ摘要欄ニ其事由ヲ受ノ部及拂ノ部ヘ同一數字ヲ記入シ且拂ノ部數字ノ上ニ除却(朱書)ト記入スヘシ但除却物品ニシテ從來既ニ受拂ヲナシ現在數アル場合ハ其數字ノ上ニ除却(朱書)ト記入整理スヘシ
- 三、輸出検査所又ハ生産検査員ニ於テ除却物品ノ配付ヲ受クルモ保管簿ニ記載スルヲ要セス

# 附 錄

●府縣郡吏員服務規律

(明治三十五年二月十四日)  
內務省令第三號

第一條 府縣郡吏員ハ法令ニ從ヒ忠實ニ其職務ヲ盡スヘシ

府縣郡吏員ハ其職務ニ付指揮監督者ノ命令ヲ遵守スヘシ

第二條 府縣郡吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス職權ヲ濫用シ廉恥ヲ破リ其他品位ヲ傷  
フノ所爲アルヘカラス

第三條 府縣郡吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏洩シ又ハ未發ノ事件若ハ文  
書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ヌ其職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ但裁判所ノ召喚ニ  
依リ職務上ノ秘密ニ付訊問ヲ受ケタル場合ニ於テ指揮監督者ノ許可ヲ得タル事  
件ニ付テハ此限リニ在ラス

第四條 府縣郡吏員ハ職務ノ爲メ出張ヲ命セラレタル場合ヲ除ク外指揮監督者ノ  
許可ヲ受クルニ非サレハ其職務ノ地ヲ離ル、コトヲ得ヌ

第五條 府縣郡吏員ハ其職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其他ノモノ、

爲ニ贈與其他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

府縣郡吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受ケルニ非サハハ其職務ニ關シ直接ト間接ト  
ヲ問ハス自己若ハ其他ノモノ、爲ニ贈與其他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

第六條 左ニ揚クル者ト直接ニ關係ノ職務ニ在ル府縣郡吏員ハ其者又ハ其者ノ爲  
ニスルモノ、饗應ヲ受クルコトヲ得ス

一 府縣郡ノ爲ニ工事又ハ物件調達ノ請負ヲ爲ス者

二 府縣郡ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者

三 府縣郡ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起業者

四 府縣郡ト土地物件ノ賣買贈與貸借若ハ交換ノ契約ヲ爲ス者

五 其ノ他府縣郡ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ントスル者

第七條 有給ノ府縣郡吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ營業ヲ爲シ若  
ハ家族ヲシテ營業ヲ爲サシメ又ハ給料若ハ報酬ヲ受クヘキ他ノ事務ヲ行フコト  
ヲ得ス

第八條 本令ニ於テ指揮監督者ト稱スルハ府縣吏員ニ付テハ府縣知事郡吏員ニ付  
テ郡長ヲ謂フ

第九條 郡組合ノ吏員ニ關シテハ郡吏員ニ關スル規定ヲ準用ス

●度量衡法抜抄

(明治四十二年三月八日)  
法律第四號

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外販  
賣シ若ハ販賣ノ爲所持シ又ハ取引上若ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ使用シ  
又ハ使用ニ供スル爲所持スルコトヲ得ス

一 檢定證印ナキモノ

二 修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セサルモノ

三 變造シタルモノ

四 勅令ノ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタルモノ

五 命令ノ定ムル構造ヲ具備セサルニ至リタルモノ



第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ニ違反シタル者

二 度量衡ノ計量ヲ偽ルノ目的ヲ以テ不正ニ度量衡器ヲ使用シタル者

第十六條 度量衡器ノ製作、修覆若ハ販賣ノ免許ヲ受ケタル者又ハ業務上取引若ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

第十七條 度量衡器ノ製作修覆若ハ販賣ノ免許ヲ受ケタル者又ハ業務上取引若ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

● 度量衡法施行細則抜抄

(明治四十二年六月廿六日 農商務省令第廿八條)

第四十三條 木製榼ハ穀類用ノモノニ付爲シタル表記アルモノニ非サレハ之ヲ穀類ノ計量ニ液類用ノモノニ付爲シタル表記アルモノニ非サレハ之ヲ液類ノ計量ニ使用スルコトヲ得ス

第四十四條 五斗以上又ハ百「リットル」以上ノ穀類ヲ計量スル場合ニハ全量壹斗未滿又ハ廿「リットル」未滿ノ榼ヲ使用スルコトヲ得ス

第四十五條 榼ヲ以テ穀類ヲ計量スル場合ニ於テハ圓壺狀斗概ヲ使用スルコトヲ要ス但シ其二合五勺以下又ハ五「デシリットル」以下ノ榼ニハ小ノ表記アルモノ二升以下又ハ五「リットル」以下ノ榼ニハ中ノ表記アルモノ一斗以下又ハ二十「リットル」以下ノ榼ニハ大ノ表記アルモノヲ使用スルコトヲ要ス

第四十九條 度量衡法第八條第五號ノ構造ハ左ノ各號ノ一ニ該當セサルモノナルコトヲ要ス

- 一 度量衡器ニシテ其要部カ毀損、磨滅又ハ腐蝕シタルモノ
- 二 度量衡器ニシテ檢定證印、記號其ノ他表記ノ文字又ハ目盛ノ識別シ難キニ至リタルモノ
- 三 度器ニシテ枉撓又ハ差レアルモノ
- 四 端目盛ノ度器ニシテ其端ニ於ケル角カ最小目盛ノ一度目以上磨滅シタルモノ其ノ端目盛ニ非サルモノニ在リテハ最端ノ目盛ヲ超ユルニ至ル迄磨滅シタルモノ
- 五 材料ヲ剝合セ又ハ繼合セテ作りタル度器及連接部ヲ分離シ得サル構造ノ疊尺ニシテ其目盛アル部分ニ於ケル材料ノ繼目ニ間隙ヲ生シ且材料又ハ連接部カ分離シ易キニ至リタルモノ
- 六 麻製度器ニシテ目盛アル部分カ切斷シ易キニ至リタルモノ
- 七 度器ニシテ目盛アル部分カ缺損シ又ハ甚シク割レタルモノ
- 八 曲リ尺又ハ徑ヲ度ルニ用ユル直尺ニシテ其角度ノ著シク差ヲ生スルニ至リタルモノ又ハ副枝ノ緩ミタルモノ

- 九 榫ニシテ甚シク變形又ハ其口縁ニ緊着シタル材料又ハ鐵帶ニ緩ミヲ生シ又ハ其口縁ノ缺損(全量ノ目盛アルモノニシテ其口縁ノ缺損カ全量ノ目盛ニ達セサルモノヲ除ク)シタルモノ若ハ金屬製榫ノ繼目ノ離レタルモノ
- 十 榫ニシテ其口縁又ハ内面カ著シク磨滅シ若ハ反リテ生シ又ハ其ノ内面ニ於ケル塗料ノ剝落シタルモノ
- 十一 液類ノ計量ニ使用スル榫ニシテ漏水スルニ至リタルモノ又ハ材料ヲ二重トシタル金屬製榫ニシテ其ノ内面漏水スルニ至リタルモノ
- 十二 斗概ニシテ反リ又ハ著シク凹凸ヲ生シタルモノ
- 十三 化學用量器ニシテ重要ナル缺損アルモノ
- 十四 秤ニシテ秤カ枉撓シタルモノ
- 十五 秤ニシテ其ノ亦、亦受、承軸、亦蓋又ハ桿ニ於ケル金具カ離脱シ又ハ亦及桿ニ於ケル金具カ移動シ易キニ至リタルモノ

十六 秤ニシテ調子玉ノ遊動シ易キニ至リタルモノ又ハ其ノ用ヲ爲ササルニ至リタルモノ

十七 調子玉ナキ秤ニシテ其空懸ケ又ハ錘ヲ直點ニ懸ケタル場合ニ於テ之ニ度量衡法施行令第十六條ニ規定スル秤量ノ公差ノ四分ノ一以内ノ重量ヲ加減スルモ其睨ミカ一致セヌ若ハ其ノ桿カ水平トナラス又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指ササルニ至リタルモノ

十八 水平ヲ定ムル装置アル秤ニシテ其装置カ水平ヲ定ムルノ用ヲ爲ササルニ至リタルモノ

十九 秤ニシテ度量衡法施行令第十六條ニ規定スル公差ニ相當スル重量ヲ感セサルニ至リタルモノ

第五十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ廿五圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十一條第二項第十四條第一項第十條又ハ第十九條ハ違反シタル者

二 業務上取引又ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル場合ニ於テ第四十三條又ハ第

四十四條ニ違反シタル者

第五十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一 第十條第二項、第十二條、第十三條、第十四條第二項、第十五條、第二十

一條又ハ第二十三條ニ違反シタル者

二 業務上取引又ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル場合ニ於テ第四十二條、第四十五條乃至第四十七條ニ違反シタル者但シ第四十五條但書ノ場合ヲ除ク

三 第四十八條第一項ニ依リ指定シタル日時及場所ニ度量衡器ノ提出ヲ怠リタル者

●度量衡取締規則抜抄

(四十二年十二月廿九日  
縣令 七 四 號)

第六條 使用者ハ左ニ掲クル度量衡器ヲ營業所、工場若クハ賣買授受證明ヲ爲ス

場所ニ置キ又ハ携帯スヘカラス

一 度量衡法第八條各號ノ一ニ該當スル器物

二 著シク外物ノ附着シタルモノ  
 三 分離シ得ヘキ構造ノ器物ニシテ番號又ハ符號一致セサルモノ  
 第廿三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ廿圓未滿ノ科料又ハ三十日未滿ノ拘留ニ處ス

- 一 第三條又ハ第八條ノ命令ニ從ハサル者
- 一 第六條第七條第二項第十二條第十四條ニ違反シタル者
- 一 第十五條ノ許可ヲ受ケスレテ出張修履ヲ爲シタル者
- 一 第十三條第十七條又ハ第十九條ノ届出ヲ爲サ、ル者
- 一 第十八條ノ帳簿ヲ備ヘス若クハ規定ノ期間帳簿ヲ保存セサル者

● 穀量授受ニ關スル件

(明治十九年三月廿四日)  
 農商務省令第二號

穀量壹斗以上ヲ授受スル際壹斗樹ヲ用ヒサルトキハ其授受者ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得

● 公署公吏並公署ノ印文章及免狀鑑札ニ關スル件

(明治二十三年十月八日)  
 法律 第 百 號

刑法中官廳官署ニ關スル條項ハ公署ニ適用シ官吏ニ關スル條項ハ公吏ニ適用シ官ノ印文章及免狀鑑札ニ關スル條項ハ公署ノ印文章及免狀鑑札ニ適用ス

● 刑法援抄

(明治四十年四月一日)  
 法律第四十五號

第七條 本法ニ於テ公務員ト稱スルハ官吏、公吏法令ノ規定ニ依リ公務ニ從事スル議員、委員其他ノ職員ヲ謂フ

公務所ト稱スルハ公務員ノ職務ヲ行フ所ヲ謂フ

第九十五條 公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サザラシメ若クハサシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル

爲メ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者亦同シ

第七條 暴行又ハ脅迫ヲ爲ス爲メ多衆聚台シ當該公務員ヨリ解散ノ命令ヲ受ク  
ルコト三回以上ニ及フモ仍ホ解散セサルトキハ首魁ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮  
ニ處シ其他ノ者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十五條 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ  
公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ偽造シタル公務所又  
ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ  
圖畫ヲ偽造シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者亦同  
シ  
前二項ノ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ公務所又ハ  
公務員ノ作リタル文書若クハ圖畫ヲ變造シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ參百圓  
以下ノ罰金ニ處ス

第六十五條 行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ偽造シタ  
ル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所又ハ  
公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シタル者亦同シ

第六十六條 行使ノ目的ヲ以テ公務所ノ記號ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役  
ニ處ス

公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用シタル者亦同  
シ

第六十八條 第六十四條第二項第六十五條第二項第六十六條第二項及前  
條第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第九十三條 公務員其職權ヲ濫用シ人ヲシテ義務ナキ事ヲ行ハシメ又ハ行フ可  
キ權利ヲ妨害シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第九十七條 公務員又ハ仲裁人其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ

約束シタルトキハ三年以下ノ徴役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相等ノ行爲ヲ爲サザルトキハ一年以上十年以下ノ徴役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價格ヲ追徴ス

第百九十八條 公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ徴役又ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二百三十五條 他人ノ財物ヲ窃取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ十年以下ノ徴役ニ處ス

第二百四十二條 自己ノ財物ト雖他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ依リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

第二百五十二條 自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ徴役ニ處ス

自己ノ物ト雖公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シタル者亦同シ

第二百五十八條 公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ徴役ニ處ス

● 刑事訴訟法抜抄 附告發文例 (明治二十三年十月六日) 法律第九十六號

第二十條 官吏公吏ノ作ル可キ書類ハ其所屬官署、公署ノ印ヲ用ヒ年月日及ヒ場所ヲ記載シテ署名捺印シ毎葉ニ契印ス可シ若シ官署公署ノ印ヲ用ユルコト能ハサル場合ニ於テハ其事由ヲ記載ス可シ此規定ニ背キタルトキハ其書類ノ効ナカル可シ

官吏公吏ニ非サル者ノ作ル可キ書類ニハ本人自ラ署名捺印ス可シ

第二十一條ノ二 官吏、公吏ニ非サル者ノ署名捺印ス可キ場合ニ於テ捺印スルコト能ハサルトキハ署名ノミヲ爲シ署爲スルコト能ハサルトキハ立會人ヲシテ代

署セシメ捺印ノミチ爲シ若シ署名捺印スルコト能ハサルトキハ立會人ヲシテ代署セシム可シ

立會人ハ其代署ノ事由ヲ記載シテ署名又ハ署名捺印スヘシ  
官吏公吏ノ面前ニ於テハ本人署名スルコト能ハサル場合ト雖立會人ヲ要セス官吏、公吏代署シテ其事由ヲ付記ス可シ

第五十二條 官吏公吏其職務ヲ行フニ因リ犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シタルトキハ速ニ其職務ヲ行フ地ノ檢事ニ告發ス可シ  
告發ハ官吏公吏ノ署名捺印シタル書面ヲ以テ之ヲ爲シ成ル可ク證據及ヒ事實參考ト成ル可キ事物ヲ添フ可シ

第五十六條 現行犯罪トハ現ニ行ヒ又ハ現ニ行ヒ終リル際ニ發覺シタル罪ヲ謂フ  
第五十七條 重罪輕罪ニ付左ノ場合ハ現行犯ニ準ス

第一、犯人トシテ一人又ハ數人ニ追呼セララルトキ  
第二、兇器贓物其他ノ物件ヲ携帯シ又ハ身體被服ニ顯著ナル犯罪ノ痕跡アリテ

犯人ト思料ス可キトキ

第三、家宅内ニ於テ犯シタル罪ヲ檢證スル爲メ又ハ其犯人ト思料ス可キ者ヲ逮捕スル爲メ戸主ヨリ官吏ニ其處分ヲ求メタルトキ

第六十條 何人ニ限ラス重罪又ハ禁錮ノ刑ニ該ル可キ輕罪ノ現行犯アル場合ニ於テハ直チニ被告人ヲ逮捕スルコトヲ得

第六十一條 前條ノ場合ニ於テ被告人ヲ逮捕シタル者ハ之ヲ司法警察官ニ引致ス可シ若シ引致スルコトヲ得サルトキハ自己ノ氏名職業住所及ヒ其逮捕ノ事由ヲ陳述シ仮リニ之ヲ巡查憲兵卒ニ引渡スコトヲ得

被告人ヲ巡查憲兵卒ニ引渡シタルトキハ速ニ告訴又ハ告發ヲ爲ス可シ被告人又ハ巡查憲兵卒ハ逮捕ヲ爲シタル者ニ對シ共ニ官署ニ至ルコトヲ求ムルコトヲ得但逮捕ヲ爲シタル者ハ正當ノ事由アルニ非サレハ其求ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百二十五條 左ニ記載シタル場合ニ於テハ証言ヲ拒ムコトヲ得

第一、官吏又ハ官吏公吏タリシ者其公份上黙秘ス可キ義務アル事情ニ關スルト

第二醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、公証人又ハ此等ノ職ニ在  
 リシ者及宗教若ハ禱祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リシ者其職務上取扱ヒタ  
 ルコトニ付知得タル事實ニシテ黙秘ス可キモノニ關スルトキ証言ヲ拒ム者ハ拒  
 絶ノ原因タル事實ヲ開示シ且之ヲ疏明ス可シ

告發文例

被 告 人	原籍	何縣何郡市何町村大字何々番地
	住所身分職業	何縣何郡市何町村大字何々番地平民何業
氏名	何	當何年
年齡		
犯罪年月日時	明治	年 月 日 時
犯罪ノ場所	被告人自宅又ハ何所	

所為 明治何年何月何日何時(又ハ何時頃)何所ニ於テ何々ノ所為ヲ認メナリ  
 何々  
 通條 明治四十三年德島縣令第何号第何條ニ違反シ同第何條第何号ニ該當

右及告發候也

明治 年 月 日

職 氏

名 印

宛 名

●警察犯處罰令抜抄

(明治四十一年九月二十九日) 內務省令第十六號

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ  
 處ス

二十一、官公署ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ其義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ  
 肯セサル者

第三條 左ノ各号ノ一ニ該當スル者ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス



八、故ナク官公署ノ召喚ニ應セサル者

附二〇

●違警罪即決例

(明治十八年九月二十四日)  
布告第三十一号

第一條 警察署長及分署長又ハ其代理タル官吏ハ其管轄地内ニ於テ犯シタル違警罪ヲ即決スヘシ但私訴ハ此限ニ在ラス

第二條 即決ハ裁判ノ正式ヲ用ヒス被告人ノ陳述ヲ聽キ證據ヲ取調ヘ直チニ其言渡ヲ爲スヘシ

又被告人ヲ呼出スコトナク若ハ呼出シトリト雖出廷セサル時ハ直チニ其言渡書ヲ本人又ハ其住所ニ送達スルコトヲ得

第三條 即決ノ言渡ニ對シテハ違警罪裁判所ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得但シ正式ノ裁判ヲ經スシテ直チニ上訴ヲ得スコトヲ得ス

第四條 即決ノ言渡書ニハ被告人ノ氏名年齢身分職業住所犯罪ノ場所年月日時罪名刑名及正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得ヘキ期限並ニ其言渡ヲナシタル警察

署年月日警察官ノ氏名ヲ記載スヘシ

第五條 正式ノ裁判ヲ請求スル者ハ即決ノ言渡ヲ爲シタル警察署ニ申立書ヲ差出スヘシ但其期限ハ第二條第一項ノ場合ニ於テハ言渡アリタルヨリ三日以内第二項ノ場合ニ於テハ言渡書ノ送達アリタルヨリ五日以内トス

第六條 警察署ニ於テハ前條ノ申立ヲ受ケタル時ハ二十四時間内ニ訴訟ニ關スル一切ノ書類ヲ違警罪裁判所檢察官ニ送致スヘシ

第七條 第五條ニ定メタル期限内ニ正式ノ裁判ヲ請求セサル時ハ即決ノ言渡ヲ以テ確定ノモノトス

第八條 科料拘留ノ言渡ヲ爲シタル時必要ト認ムル場合ニ於テハ後ノ數條ニ定メタル處分ヲ爲スコトヲ得

第九條 科料ノ言渡ヲ爲シタル時ハ其金額ヲ假納セシムヘシ若シ納メサル者ハ壹圓ヲ一日ニ折算シテ之ヲ留置ス其壹圓ニ滿サル者ト雖仍ホ一日ニ計算ス

第十條 拘留ノ言渡ヲ爲シヨル時ハ一日ヲ壹圓ニ折算シ其刑期ニ相當ノ金額ヲ保

附二一

證トシテ差出サシムヘシ若シ差出ササハル者第五條ニ定メタル期限内之ヲ留置  
ス但刑期五日内ナル時ハ其日數ニ過クルコトヲ得ス

第十一條 保證金ヲ差出シタル者ハ刑ノ言渡確定シタル後直チニ出廷シテ其執行  
ヲ受クヘシ若シ出廷セサル時ハ保證金ヲ没入シテ本刑ニ換フ

第十二條 留置シタル者正式ノ裁判ヲ請求シ因テ呼出狀ノ送達アリタル時ハ直チ  
ニ留置ヲ解クヘシ

第十三條 留置ノ日數ハ一日ヲ壹圓ニ折算シテ科料ノ金額ニ算入シ又ハ拘留ノ刑  
期ニ算入スヘシ

●農事改良實行特別獎勵規定

(明治四十年六月三日  
德島縣告示第二百廿七號)

第一條 左ニ掲クル農事ニ關シテハ特ニ急務トシテ其改良普及ノ實行ヲ獎勵スヘ

一 共同稻苗代ノ設置

二 稻ノ害虫驅除豫除

三 麥ノ黑穗防除

四 麥間大豆及紫雲英ノ栽培

五 堆肥ノ製造

六 桑樹ノ害虫驅除

七 牛馬ノ去勢

八 家畜家禽ノ蕃殖

九 乾草ノ製造

十 肥料種苗農具ノ共同購入及生産物ノ共同販賣

十一 産米ノ乾燥調製俵裝

第二條 前條ノ實行ヲ獎勵スル爲左ノ委員等ヲ設ク

本部委員長

本部幹事

一名

一名

本部委員

若干名

郡市部委員長

一名

郡市部委員

若干名

町村部委員長

一名

町村部委員

若干名

第三條 本部委員長ハ内務部長本部幹事ハ農商課長本部委員ハ農商課員及警察部在職ノ警視警部並ニ農事試驗場縣農會職員中ヨリ知事之ヲ任命又ハ囑託ス  
 郡市部委員長ハ郡市長郡市委員ハ郡市書記郡市吏員及郡市農會職員中ニ就キ郡市長之ヲ任命又ハ囑託ス  
 前項ノ外知事ハ郡市在職ノ警視警部ニ郡市部委員ヲ命スルコトアルヘシ  
 町村部委員長ハ町村長町村部委員ハ町村助役書記及町村ノ農會職員中ニ就キ町村長之ヲ任命又ハ囑託ス

第四條 本部幹事ハ本部委員長ノ指揮ヲ承ケ第一條各號ノ實行時期ニ至ル毎ニ獎勵着手ノ手續ヲ爲シ及獎勵ノ實績ヲ調査ススヘシ

本部ノ委員ハ本部委員長ノ指揮ヲ承ケ實行時期ニ於テ郡市部ニ派出シ郡市部委員長ト協商ノ上最モ必要トスル部分ニ就キ獎勵スヘシ

郡市部委員ハ郡市部委員長町村部委員ハ町村部委員長ノ指揮ヲ承ケ實行時期ニ於テ各町村ヲ巡回獎勵スヘシ

郡市部委員タル警視警部ハ郡市部委員長ト協商ノ上實行時期ニ於テ最モ必要トスル町村ニ就キ獎勵スヘシ

第五條 各町村ニ於テハ農業者三十名以内ヲ以テ實行組ヲ組織シ組員共勵シテ第一條各號ノ事項ヲ實行スヘシ

第六條 前條ノ實行ヲ期スル爲實行組員ハ一箇實行組ノ町村農會員中ヨリ一名宛實行組長ヲ選出スヘシ但實行組長ハ町村部委員長ニ於テ指名囑託スルコトヲ得

第七條 實行組長ハ委員ノ勵獎ニ應シ組員ノ實行ヲ監督指導且其成績ヲ調査スヘシ

第八條 囑託委員及實行組長ハ名譽職トス

第九條 委員長委員及幹事ノ旅費ハ本職所屬ノ經費ヲ以テ支辨スルモノトス

第十條 實行ニ關シ町村部委員長又ハ實行組長ノ特別功勞アルヲ認メ

タルトキハ郡市部委員長ヨリ之ヲ本部委員長ニ報告シ本部委員長詮考ノ上知事

ニ具申スヘシ各委員ニ於テ前項ノ認知ヲナシタルトキハ其郡市部委員長ニ申告

スヘシ

第十一條 第三條ノ委員ヲ任命囑託シタルトキハ郡市長ハ知事ニ町村長ハ郡市長

ヲ經テ其人名ヲ知事ニ申報スヘシ

附 則

第十二條 本則ハ發布ノ日ヨリ施行ス

大正四年九月廿七日印刷  
大正四年九月三十日發行

發行所 德島縣產米検査所

印刷人 伊川 宜吉

印刷所 芳川堂活版部

德島縣德島市安宅町  
百六十二番屋敷  
德島縣德島市中通町  
字北側一番地



373613



